



に い が た

県電だより



『白根大凧合戦』

撮影場所・撮影日／新潟市南区中ノ口川 平成 28 年 6 月

【コメント】

300 年の伝統を誇る白根大凧合戦が 6 月 2 日から 6 日まで、新潟市南区の中ノ口川堤防で行われた。

初日は北からの「凧風」が吹き、絶好の合戦日和。24 畳サイズの大凧が勇壮に空を舞って次々に綱が絡み、力強い引き合いが続いた。大凧合戦は川を挟んで東軍（白根側）と西軍（味方側）に分かれ、凧を揚げ、綱を絡めて引き合い、相手の綱を切った方が勝ちとなる。三条市の三条凧合戦と、見附市今町と長岡市中之島地域の大凧合戦とともに、県の無形民俗文化財に指定されている。風に恵まれたこの日は数多くの引き合いが行われ、各組のメンバーは声を枯らしながら綱を引っ張った。綱が切れると、「バツン」という音とともに川面に水しぶきが上がった。

撮影者／新潟県電気工事工業組合

新潟支部 有限会社森山電気商会 森山 隆吉 氏

表紙写真紹介

新潟県電気工事工業組合



目 次

1. 平成 28 年度 第 68 回通常総代会開催報告	1
2. 新潟県電気工事工業組合政治連盟 第 36 回通常評議員会	3
3. 「県青年部」平成 28 年度 理事総会を開催	4
4. 平成 28 年度 新規雇い入れ時安全衛生教育を開催	5
5. 電気工事士現場力レベルアップセミナーを開催	6
6. 平成 28 年度「危険予知訓練」を開催	7
7. 東北電力引込線工事作業訓練（昇降柱訓練、基礎訓練）を開催	8
8. 各支部だより	10
9. 各青年部だより	12
10. 平成 28 年度電気使用安全月間	15
11. 組合員の異動・変更	16
12. 第一種電気工事士定期講習の開催について	16
13. 危険物取扱者試験（8 月分）・消防設備士試験（10 月分）	17
14. 新潟県家庭用太陽光発電導入促進事業補助金	18

【表紙写真募集】

- ・県電だより年間発行予定：1月1日、4月1日、7月1日、10月1日（年4回発行）
- ・写真の現物あるいはデジタルカメラで撮影したデータを、発行日の1ヶ月前までに下記までお送り下さい。

記

〒951-8068 新潟市中央区上大川前通6番町1203 新潟県電気工事工業組合 TEL 025 - 229 - 4101

第 68 回 通 常 総 代 会

電気工事士免状交付等業務を引き続き受託 —各委員会事業並びに基本業務を着実に実施—

当工組の平成 28 年度第 68 回通常総代会は、去る 6 月 2 日（木）ANA クラウンプラザホテル新潟において、総代 100 名中 89 名（うち委任状 17 名）が出席して開催され、平成 27 年度事業報告並びに収支決算、平成 28 年度事業計画（案）並びに収支予算（案）等について審議可決したのち、労働保険事務組合事務処理規約等規約変更を可決した。



理事長挨拶



議長団

総代会は、西村事務局長の司会で定刻 14 時 30 分に開催され、出席総代数の報告が行われたのち、平成 27 年度に物故された 2 名の組合員に哀悼の意を表して黙祷を捧げた。

次に、小林理事長より開会の挨拶が行われたのち、議長団の選出に移り、議長に上越支部・大和電建(株)・本山秀樹氏、副議長に三条支部・(株)新電社・関川正一氏、同じく副議長に柏崎支部・(株)新栄電業・木我伸一氏を選出して直ちに議事に入った。

〔第 1 号議案〕平成 27 年度事業報告並びに収支決算承認の件

（事業報告）

事業活動の概要、並びに総務委員会関係、経

営企画推進委員会関係、技術委員会関係、引込線事業委員会関係の各事業委員会関係、及び青年部関係の主な事業の実施状況について報告が行われた。

（収支決算）

平成 27 年度の収支決算は、総収益 3 億 3,419 万円、総費用 3 億 2,117 万円で、経常利益 1,094 万円、当期純利益 889 万円の実績となり、当期未処分利益 4,814 万円のうち利益準備金、特別積立金、並びに会館修繕積立金を各々 200 万円とする等、次期繰越剰余金を 4,143 万円とする剰余金処分（案）を満場一致で承認した。

〔第 2 号議案〕平成 28 年度事業計画（案）並びに収支予算（案）承認の件

(事業計画)

組合員の真のニーズに即した組合活動を実施するための事業計画として、各事業委員会の重点施策について説明が行われた。

(収支予算)

効率的な事業運営に努め、平成 27 年度実績に比べて 1,844 万円増額の 3 億 5,264 万円の予算編成の説明が行われ、満場一致で原案どおり承認した。

〔第 3 号議案〕 役員報酬限度額決定の件

理事 950 万円、監事 50 万円を満場一致で承認した。

〔第 4 号議案〕 借入金残高最高限度額決定の件

5,000 万円を満場一致で承認した。

〔第 5 号議案〕 規約一部変更の件

第一点目として、定款が一部変更されたこと並びに法律改正に伴い、「新潟県電気工事工業組合労働保険事務組合事務処理規約」を変更するものである旨、第二点目として、役員数を母体団体にあわせるため、並びに組合費を別に定めるため、「新潟県電気工事工業組合労災加入組合規約」を変更するものである旨の説明が行われ、満場一致で原案どおり承認した。

以上で本日の議案は全て終了した。

引き続き、平成 28 年度の表彰式が行われた。

組合表彰として、

▼電気関係業務永年従事者

(満 70 才以上の電気功労者) 表彰 = 13 名

▼役員永年勤続者表彰 = 8 名

▼優良従業員永年勤続者表彰

- ・満 10 年表彰 = 5 名
- ・満 20 年表彰 = 11 名
- ・満 30 年以上表彰 = 24 名

61 名の受彰者を代表して、野本金次郎氏（柏崎支部）が謝辞を述べて組合表彰が終了した。

続いて、支部活動で優秀な成績を挙げた各支部に対して優秀支部表彰が行われた。

▼優秀支部表彰

- ・最優秀賞：柏崎支部
- ・優秀賞：新津支部
- ・努力賞：長岡支部、新潟支部

続いて、東北七県電気工事組合連合会表彰伝達式並びに全日本電気工事業工業組合連合会表彰伝達式が行われた。

▼東北七県電気工事組合連合会表彰

- (1) 指導功労者 = 1 名
- (2) 優良従業員および組合優良職員 = 5 名

▼全日本電気工事業工業組合連合会表彰

- (1) 役員の一部 = 1 名
- (2) 職員の一部 = 1 名



受彰者代表謝辞

新潟県電気工事工業組合政治連盟

第 36 回通常評議員会

続いて、新潟県電気工事工業組合政治連盟第 36 回通常評議員会が、評議員 100 名中 89 名（うち委任状 18 名）が出席して午後 4 時 30 分より開催された。

はじめに小林会長より開会挨拶が行われたのち、有坂友栄幹事長より当工組組合員関係者市長村議会議員で組織されている議員協議会員 3 名のうち 3 名の方々が当評議員会にご出席されている旨の報告と、それぞれのご紹介を行った。

続いて、当連盟顧問の塚田一郎参議院議員、並びに同相談役の高倉栄県議会議員（代理）にご出席いただいている旨の報告と、それぞれのご紹介を行った。

また、先の当連盟幹事会で佐藤・塚田参議院議員に顧問を、星野・尾身・高倉県議会議員に相談役を引き続きお願いすることになり、ご出席いただいた塚田参議院議員並びに高倉県議会議員（代理）に、顧問、相談役の委嘱状をお渡

しした。

続いて、議長に上越支部・大和電建(株)・本山秀樹氏を選出して議事に入った。

【第 1 号議案】平成 27 年度事業報告書、貸借対照表、収支計算書、財産目録及び繰越金承認の件

【第 2 号議案】平成 28 年度事業計画（案）並びに収支予算（案）承認の件

以上 2 議案は原案どおり可決承認し、本日の議案は全て終了した。



顧問・相談役、議員協議会員

変圧器／ヒューズ／開閉器／受配電設備／配電自動化機器／監視制御システム／
太陽光発電用パワーコンディショナ／高周波電源／溶接機／切断機／ロボット

DAIHEN

株式会社ダイヘン

本 社 〒532-8512 大阪市淀川区田川2丁目1-11 TEL 06(6301)1212
東北支社 〒981-3133 仙台市泉区泉中央4丁目7番地7 TEL 022(218)0942

<http://www.daihen.co.jp/>

県 青 年 部

平成 28 年度理事総会

— 電気工事業界の発展に向けて！ —

新潟県電気工事工業組合青年部の平成 28 年度理事総会が、6 月 3 日電気工事会館において親会の吉田副理事長、理事 21 名、監事 2 名、顧問 1 名、事務局 1 名の計 26 名出席のもと開催された。



はじめに星野会長より「平成 27 年度は皆様にご協力をいただいた工業高校での交流事業は 5 校で開催することができた。また業界 PR を目的に立ち上げた新潟電工ガールプロジェクトも交流事業と共に新聞・テレビ等に

取り上げていただき、当業界を多くの人に知ってもらえる機会となった。今年度も工業高校での交流事業を継続して実施し、多くの若者に当業界に入ってもらえるキッカケとなればと考えている。皆様のご協力をお願いします。最後に、本日は皆様のご意見をたくさん出していただき、総会を盛り上げていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。」と開会挨拶が行われた。続いて吉田副理事長より「日頃より親会を引き立てていただきありがとうございます。昨年度は高校生との交流事業や新潟電工ガールプロジェクトを通じて当業界を PR していただきありがとうございました。今後、組合を担っていく青年部の皆さんがこの事業を推進、実行していくということは、非常に有効な事だと考えている。今後、世代が変わっていく中で様々な問題に直面することもあるかもしれないが、ご相談いただければ乗りたい。本日はゆっくり話を聞かせていただきたい、よろしくお願い申し上げます。」と挨拶をいただいた。次に議長に宮川洋祐氏（小千谷支部）を選出し、議案の審議に入った。



【第 1 号議案】平成 27 年度事業報告並びに収支決算承認について

平成 27 年度事業報告並びに収支決算報告が行われ、監査報告どおり承認された。

【第 2 号議案】平成 28 年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について

平成 28 年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について説明が行われ、原案どおり承認された。

以上、議案は全て承認され、平成 28 年度理事総会は閉会した。



平成 28 年度

電気工事士現場力レベルアップセミナーを開催

経営企画推進委員会（山本進委員長）主催の平成 28 年度「電気工事士現場力レベルアップセミナー」が、4 月 20 日に長岡会場：長岡市立劇場、4 月 21 日に新潟会場：新潟テルサにおいて開催され、組合員各社より長岡会場 21 名、新潟会場 23 名の計 44 名が受講しました。本セミナーは、電気工事士の方を対象にしたセミナーで、旧名称（電気工事士キャリアアップセミナー）からの開催を含め、今回が 6 回目の開催となりました。

講師には、埼玉県川越市の「SEEDO」代表 関根康明様をお迎えし、両会場とも午前中は「現場力を養う」、「現場の知識」、午後からは「キャリアアップの方法」、「工事士は現場の営業マン」、「安全管理のすすめ方」、「工事写真に学ぶ」、「これからどうなる！電気工事業」をテーマに、関



根講師の豊富な知識とご経験を基に幅広く体系的にご講義をいただきました。セミナーでは関根講師から受講者への質問も交えながら、現場の知識や今後のキャリアアップやスキルアップのための心構え、安全管理の手法等の現場力を高める知識をわかりやすくご説明いただきました。

受講後に回答頂いたアンケートでは、受講生から、「話が聞きやすく為になる話が多くて勉強になりました。」、「関根先生の体験談もあり、非常におもしろいセミナーでした。」、「今まで、自分の考えている考えとは違う考えを知る良い機会になりました。」等、多くの受講生からご講評の感想を頂きました。

経営企画推進委員会では今後も人材育成に関するセミナーを多数開催していく予定ですので、ご参加いただけますようお願い申し上げます。



HEMS対応住宅分電盤

スマートコスモ®が
おすすめしやすい
価格で新登場!!



HEMS対応住宅分電盤
スマートコスモ AiSEG通信型
BHN85202
希望小売価格111,100円(税抜)

Panasonic
Homes & Living

「AiSEG」および「スマートコスモ」は、パナソニックグループの登録商標です。

Wonders!
by Panasonic

◎お問い合わせ先…パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 新潟電材営業所
〒950-2031 新潟県新潟市西区流通センター1丁目1番地3号 (025)260-7711

平成 28 年度 「危険予知訓練」 を開催

5 月 12 日（木）新潟県建設会館

5 月 20 日（金）上越市民プラザ

5 月 26 日（木）長岡新産管理センター

平成 28 年度「危険予知訓練」を今年度は、昨年度に引き続き新潟・上越・長岡会場の 3 会場の開催となりました。



齊藤技術委員長による開会挨拶：新潟会場



村田部会長による講義：長岡会場

冒頭、新潟会場は齊藤技術委員長、上越会場は梨本技術副委員長、長岡会場は小川委員よりご挨拶を頂きその後、村田部会長の進行にて『危険予知訓練』の講習会がスタートいたしました。

講習会は、グループ毎にコーディネーターが付く形で講習会は進められました。

〈カリキュラム〉

- ① 「危険予知活動の目指すもの」
- ② 指差し呼称・指差し唱和・T&C（実技）
- ③ 「ゼロ災運動と危険予知訓練」（講義）
- ④ 健康 KY（実技）



指差し唱和：上越会場

- ⑤ KYT 基礎 4R 法の進め方（実技）
- ⑥ 「最新 -KYT 法の進め方」（VTR）
- ⑦ KYT 基礎 4R 法（2R 迄）（実技）
- ⑧ KYT 基礎 4R 法（実技）
- ⑨ TBM-KY（実技）

閉会では、グループのまとめ役であったチーム幹事に今日の感想を述べてもらいました。その後、記念品が贈られました。新潟会場 52 名・上越会場 18 名・長岡会場 41 名、総勢 111 名が受講されました。

最初はぎこちなかった「指差し呼称」「指差し唱和」も講習会の終わりには、しっかりとした力強いものになっていました。この『危険予知訓練』で身に付けたことを活用頂き、今後も作業を安全にお願いいたします。

『ゼロ災でいこう ヨシ!』



KYT 基礎 4R 法：上越会場

東北電力引込線工事作業訓練（昇降柱訓練、基礎訓練）を開催

引込線事業委員会（荻荘賢一委員長）主催の東北電力引込線工事作業訓練（昇降柱訓練、基礎訓練）が、平成 28 年 6 月 8 日（水）～9 日（木）、6 月 15 日（水）～17 日（金）に開催され、121 名が受講されました。

本訓練は、まったく電柱の昇り降りを経験していない方のために、昇降柱のみを重点的に行い、一定のレベルに達する事を目的にした「昇降柱訓練」、また、電柱の昇り降りは問題ないが、引込線作業を行ったことが無い方のため、柱上訓練を中心に DV 線の張上げをおこなう技能の習得を目指すことを目的にした「基礎訓練」の 2 つに分けて実施しております。

まず、6 月 8 日（水）・9 日（木）にかけて、新潟支部訓練施設（三浦電機㈱東港工場構内）において、受講者 61 名を 2 日間に分けて、昇降柱訓練を開催いたしました。

両日とも、はじめに、荻荘引込線事業委員長のご挨拶の後、インストラクターによる昇柱動作の模範演技が行われました。その後、受講者を 2～3 人の班に分けて、各インストラクターのご指導のもと、昇降柱の訓練を受けていただきました。

午後の初めに、梯子取扱いの指導が行われました。その後、再度グループに分かれていただき、午前と同様に昇降柱の訓練を受けていただきました。

両日とも、最後に、久保田副部長より講評



をいただき、訓練を終了いたしました。

初めはぎこちなかった受講生の昇柱動作も、1 日かけて昇柱動作を繰り返し行う事で、訓練の最後にはしっかりとした動作が身につけていました。

翌週の 6 月 15 日（水）～17（金）にかけて、基礎訓練を開催いたしました。

6 月 15 日（水）に電気工事会館において座学講習、6 月 16 日（木）・17 日（金）に新潟支部訓練施設（三浦電機㈱東港工場構内）において、受講生





60 名を 2 日間に分けて、実技訓練を行いました。

6 月 15 日（水）の座学講習では、荻荘引込線事業委員長のご挨拶、インストラクターのご紹介の後、講習をスタート、5 名のインストラクターを講師とし、「改訂 標準作業マニュアル」をテキストとして、引込線工事の基本を学んでいただきました。

午後には、スマートメーターの取付け訓練が行われ、受講生はインストラクターの指導のもと、熱心に作業に取り組んでいました。

6 月 16 日（木）・17（金）に行われた実技訓練では、両日とも、荻荘引込線事業委員長のご挨拶の後、インストラクターによる模範演技が行わ



れました。その後、2 名～3 名の班に分かれ、各インストラクターのご指導のもと、引込訓練を受けて頂きました。

両日、最後に、久保田副部長より講評をいただき、訓練を終了いたしました。

受講生の皆さま大変お疲れ様でした。訓練で習得した技術を日々の作業に生かして頂き、会社の大きな力となるよう頑張ってください。皆さま方のご活躍を期待しております。

最後に、本訓練にご協力をいただきましたコーディネーターの IS 部会の皆様、(株)荻荘電機の湯浅様、また新潟引込線工事(株)様、大変ありがとうございました。



三 条 支 部

加 茂 祭

県のほぼ中央に位置する加茂市は、地名が京都の加茂（賀茂）に由来することから「越後（北越）の小京都」とも呼ばれています。市内を流れる加茂川では、4月中旬から5月上旬に約500匹の鯉のぼりが泳ぐ勇壮な姿を楽しむことができ、春の風物詩として定着しています。また、駅の東の加茂山に広がる加茂山公園ではユキツバキが群生しており、このことから、ユキツバキは県の木として指定されています。

この越後平野をみはるかす加茂山には、古くから「加茂のお明神さま」と広く親しまれている青海神社が鎮座します。一帯を開拓した一族によって、護り神として神亀3年（726年）に、あおみ祖神椎根津彦命としいねつひこのみこと大国魂命を奉斎する青海神社が加茂山の山麓に創建されました。

青海神社の春祭は加茂市の伝統ある祭りのなかでも最大の祭りで、例年5月21日に行われ「加茂祭」と呼ばれています。春祭は近在近郷をあげて賑わいます。御神輿の御神幸行列には、白布に「青海大明神」「加茂大明神」と墨書した旒旗を捧げる数十人の子供達が先頭にたち、大勢の女の子の「お稚児さま」と男の子の「お徒士かち」が続きます。

行列のなかで最も華麗なのは、1歳位までの幼児を背負った若い母親達の行列です。安産・子育て



御神輿に力水

ての神であるたまよりひめのみこと玉依媛命に、愛児が健康で美しく育つようにとの祈りを込めて供奉します。背負った子供には豪華絢爛な産衣がかけられ、その模様は、男の子には黒地に鯉の滝昇り、金太郎、桃太郎、鶴亀などがあり、女の子には牡丹、芍薬、孔雀、菊花模様などが金糸銀糸で織りなされています。乳児を着飾らせ、妍を競って御神幸のお供をすることから、別名「乳母祭」とも呼ばれ、世に知られています。「加茂には嫁にはやれない。産衣に金がかかるから」といわれた時代があったといえます。

市内には、青海神社の他にも由緒ある神社や寺院も多く、自然的、歴史的景観にも恵まれています。お祭り見物がてら、ぜひ一度おいで下さい。お待ちしております。



御神輿前のお祓い神事



乳母行列

燕 支 部

広範囲・行動力・連帯感 燕支部

今年は猛暑の予感がする毎日、組合員の皆様におかれましてはますますご隆盛の事と存じあげます。さて、今更ながらではございますが、今回は燕支部の紹介をさせていただきたいと思っております。

私達燕支部は、県央地区の概ね九つの地域から成り立っており、たぶん皆様が思っているよりも広範囲に渡り組合員がおります。

そんな広範囲な中でも皆で一致団結して、県央地区の電気工事組合、電気工事業を支えています。

まず、近年一番大きな組合での事業といたしましては、2013年に行った「燕市防犯灯 E S C O 事業」が挙げられます。この事業は、燕市内全域 1 万 2 千灯の防犯灯を、全て L E D 化するという大掛かりな事業でした。請負体制は、私達「県央電気工事協同組合」が燕市よりエスコ事業者として認定していただき、組合主体で各担当地域の電気工事店より施工をしていただくというものでした。市内全域の灯数の把握、機種判別、設置場所の把握、契約内容の把握、施工前後の消費電力差の算出、施工業者の割振り等々、今思い返してもとても大変な事業でした。しかしながら、組合員の皆様の多大なるご協力により、また一層の連帯感も生まれたと感じて

おります。なにより街全体が明るくなった事を地域住民の方々が大変お喜びになられているという事実が、この事業を行ってよかったといまだに感じられる理由かと思っております。

さて、その他事業といたしましては「ボーリング大会」。これは組合員の従業員、ご家族、知人友人等で参加していただき、毎年大勢の大人から子供までが全員子供の様になって、勝った負けた、商品は何だと盛りあがっております。

また、組合駐車場等で、電材屋さん、メーカーさん達に参加してもらった「工具フェア」、これも毎年恒例となっており、結構な売り上げをあげているようです。

他には、青年部主体で行っている「納涼大会」。これは、工具フェアにあわせ焼きそば、法兰克福ト、飲み物などを販売して、組合員の親睦を深めるために行っています。

もうひとつ、これも青年部主体で行っている、高所作業車乗車体験などの「ボランティア活動」。以上のような活動を毎年行っています。年々、電気工事業の従事者や新規従事者が減っていくなか、皆様も外注手配等で悩んでおられる方も多いと思いますが、燕支部の範囲の広さ、行動力、連帯感を今一度皆様に再認識していただきたく、今回の記事といたしました。



ESCO 事業



ボーリング大会

新発田支部青年部

近 況 報 告

新発田支部青年部では、3月26日（土）～3月27日（日）に研修旅行ということで大阪へ行きました。11名の参加で空路にて大阪に入り、お好み焼きを食べてからパナソニックコーポレーションショールームへ視察を行いました。ショールームでは、器具・住設とさまざまな展示があり、360°から何台ものカメラで同時撮影する機械の体験など楽しめました。夜は北新地にて懇親会、楽しいひと時を過ごすなど大阪を十分に堪能してきました。

また、4月10日（日）に新発田城址公園で行



われたさくらまつりにて、高所作業車への乗車体験を開催いたしました。今回のイベントは、高所作業車3台と作業床1台による乗車体験コーナー、お菓子釣りコーナー、ポップコーンの無料配布を行いました。東北電力(株)新発田(営)様からIHの体験調理実演とエコバック作りと災害派遣用低圧電源車「TOMOS」での発電を行い電化のPR等も行わせていただきました。天候にも恵まれAM10時からPM3時までで、乗車体験の来場者は780人となりました。自衛隊の広報の方でスターウォーズでお馴染みのキャラクターも乗車し、子供達をはじめ運営側も楽しめたイベントになったと思います。これからも地域に根差した電気工事店及び電気工事工業組合をPRしていきたいと思ひます。

新津支部青年部

『寄り添う力』

新津支部青年部は、現在（28.5.1）14名で活動しております。

次代の電気工事業界を担う為、会員の研修と相互の研鑽を行い、業界並びに地域社会の発展に資することを目的に日々活動しております。

主な活動内容は、地域貢献のボランティア活動、視察見学を兼ねた研修旅行、東北電力(株)新津営業所管轄で交流を深めるスポーツ交流会・各種講習会・耐压試験を行っております。

毎月第3木曜には、定例会を開催し日々、電気工事業界の問題点などを話っております。

昨年度の活動を少し紹介させていただきます。

平成 27 年 6 月 5 日と 18 日の二日間で『ルームエアコン講習会』を開催致しました。

部員（丸山部長）が講師になり親切丁寧指導で行われました。

1 日目は、支部事務所のエアコンの取替作業を実際に行いながら講習を行いました。

エアコンの取り外し方法・取付方法・工具の説明と半日がんばりました。

絶妙なチームプレイで着々と作業を行いました。

2 日目は、改修工事をしている(有)NEW の事務所兼 調査員室にエアコンを新設する作業を行いました。前回講習したエアコンの新設作業を



手際良く行き、エアコンのガス漏れ時の改修及びガスチャージ方法（R410A）を講習しました。

これからは、青年部員数が減少する見込みです。これからの担い手として青年部として何が出来るか？青年部に加入するメリットなどを模索しながら、電気業界の発展に貢献していけるよう活動をして行きたいと思っております。



先進技術による 配電盤と電気工事



東港工場



三浦電機株式会社

代表取締役 小名 隆一

本 社 新潟市東区錦町 1-18 TEL (025) 274-0381
FAX (025) 274-0385
柏崎営業所 柏崎市三和町 3-40 TEL (0257) 24-3739
東 港 工 場 新潟市北区島見町 3399-10 TEL (025) 255-4201

三条支部 青年部

三条マルシェ出店！

昨年の 10 月になりますが、三条市本町地区で行われた三条マルシェに初出店を致しました。

年に数回行われ、150 店舗以上の店が連なり商店街通りが大規模な歩行者天国になります。



その中で私達は電気工事の PR ブースとして、テントの中で HEMS を設置してドライヤーなどの電気製品を使って電気使用量の「見える化」の説明や B S アンテナのレベル調整を一般の来場



者の方々に体験してもらいました。それと昇柱体験ということで、電柱の地上 20cm 程度の所に作業足場台を取付けてヘルメット・腰道具・安全帯をしてもらい記念撮影をしました。小さなお子さんやお母さんにとっても大人気で長蛇の列ができていました。

参加してもらった方には、アンケートの記入をお願いして普段電気でお困りのことなどを書いてもらい生の声が聴けました。これを参考に、これからの電気工事に活かしていけたらと思っております。

来年度は年に 2 回の参加を予定しており高所作業車の試乗体験も考えています。

来場者の小さなお子さんから学生まで電気工事業に興味を持ってもらい電気工事の大切さ必要さそして面白さを感じて、行く末はこの業界を担う人材になってもらえるように、これからも参加していきたいと思っております。

平成 28 年度電気使用安全月間

地域社会に視点をとおいた運動を展開！

本年度も 8 月 1 日～ 31 日の一ヶ月間に亘り、経済産業省主唱のもとで電気使用安全月間運動が実施される。当月間運動は、電気使用の安全に対する知識をひろく啓蒙・普及するために、感電事故の多い夏場に全国各都道府県で実施されるもので、昭和 56 年以来毎年 8 月に実施され本年で 36 回目を迎える。

本年度も「地域社会に視点をとおいた電気使用安全運動」を全面的に押し出し、電気保安の観点から、各地域の実状に適し、かつ、一般家庭の立場に立った活動が全国で展開される。

また、昨年度に引続いて感震装置・避雷器の取付推進運動が実施される。

当工組でもこれに呼応して、ポスター、PR リーフレット、チラシ、うちわ等の PR グッズを各支部に配布し、所期の目的達成のため各支部の実状に適した活動を全県下で展開する予定である。

目 的

一般家庭を軸に電気使用安全に関する啓蒙を行い、不良電気設備の改修を実施するとともに、併せて電気工事を行う者の研修を行い、一般用電気工作物の保安確保と電気災害の防止に資することを目的とする。

お宅の分電盤は安全ですか？
感震装置・避雷器
 住宅用分電盤は、「電気のある快適な暮らし」の安心を守ります。
取付推進運動実施中！ 平成28年度 電気使用安全月間 **8月1日～31日**
 感震装置の取付をお奨めします！
 避雷器の取付をお奨めします！
 万一の地震のときにも自動で電気を遮断します。
 雷サージから家電機器を保護します。
 お取り替えは安心できる電気事業者へ
 主催：経済産業省
 後援：各都道府県
 協賛：各ブロック電気工業組合

実施項目

1. 地域社会に視点をとおいた電気使用安全に関する啓蒙指導
2. 感震装置・避雷器の取り付け推進
3. 不良電気設備の改修工事の実施
4. 電気設備の安全診断の実施
5. 電気設備のリニューアルの推進
6. 電気安全啓蒙キャラバン隊の実施
7. 電気工事士に対する研修の実施
8. 200ボルト化の普及推進

感震装置・避雷器取付推進運動実施中！

準備期間 平成 28 年 7 月 1 日～ 7 月 31 日

実施期間 平成 28 年 8 月 1 日～ 8 月 31 日

汗などによる作業中の感電事故
 タコ足配線による発火
 設備の保守不良によるトラブル
 自然災害による電気事故
あなたが防ぐ 電気事故
電気使用安全月間 2016年8月1日～31日
 主催：経済産業省
 電気は安全に上手に使って節電しましょう！
 全日本電気工業工業組合連合会
 消 防 庁
 主 催 各ブロック組合連合会
 後 援 各 都 道 府 県
 各都道府県電気工業工業組合
 日 本 放 送 協 会

組 合 員 の 異 動

平成 28 年 4 月～6 月理事会承認分

日 付		支 部	
H28.4.27	新 規	上 越	(株)武藤商会

組 合 員 の 変 更

平成 28 年 4 月～6 月組合受付分

支 部	事 業 所	変 更 箇 所	変 更 前	変 更 後
新 潟	萩野電気	F A X	025 - 272 - 1733	025 - 249 - 4080
新 津	(株)板谷電機商会	代 表 者	板谷 政男	板谷 聡
	(株)立川電設	代 表 者	立川 忠	立川 哲也
燕	(有)古川電装工業	代 表 者	古川 敬三	山崎 高弘
	古沢電機商会	郵便番号	〒 959-1283	〒 959-1289
	(株)和田電機	代 表 者	和田 昇	和田 等
長 岡	水澤電機(株)	代 表 者	水澤 茂夫	水澤 元博
小千谷	(株)藤沢電機	住 所	〒 947-0024 小千谷市船岡 1 - 4 - 2	〒 947-0028 小千谷市城内 4 - 6 - 14
柏 崎	柏崎電工(株)	代 表 者	前澤 修	高橋 光晴
上 越	共立ホールディングス(株)	商 号 住 所	共立電工(株) 上越市南高田町 3 - 5	共立ホールディングス(株) 上越市南高田町 5 - 8

新潟県電気工事工業組合担当による
第一種電気工事士定期講習の開催について

新潟県電気工事工業組合担当による第一種電気工事士定期講習を下記により開催します。

新潟県電気工事工業組合が所属する『(一財)電気技術者試験センター』にご登録している方につきましては、受講時期に合わせてご自宅へ「講習申込書」と「会場一覧表」が郵送されます。ご登録いただいていない方にはご案内がいきませんので必要な方は当団体に登録をお願いいたします。

【問い合わせ先】 新潟県電気工事工業組合

〒 951 - 8068 新潟市中央区上大川前通 6 - 1203 TEL 025 - 229 - 1587



平成 28 年度 第一種電気工事士定期講習会開催 (決定分)

開 催 日	会 場
平成 28 年 9 月 26 日 (月)	新潟ユニゾンプラザ 4 階 大研修室

平成 28 年度 第一種電気工事士定期講習会開催 (予定)

開 催 日	会 場
平成 29 年 1 月 16 日 (月)	新潟ユニゾンプラザ 4 階 大研修室

■新潟ユニゾンプラザ 新潟市中央区上所 2 - 2 - 2 TEL 025 - 281 - 5511

危険物取扱者試験・消防設備士試験日程

～ あなたの未来に活かせる資格を！！ ～



●危険物取扱者試験

平成28年 8月28日(日)

受付期間(書面)

7月13日(水)～7月27日(水)

試験種類

甲種・乙種第1～6類・丙種

受験地

新潟市・長岡市・上越市
三条市(8月のみ)

●消防設備士試験

平成28年10月16日(日)

受付期間(書面)

8月31日(水)～9月14日(水)

試験種類

甲種特類(10月のみ)

甲種第1～5類

乙種第1～7類

受験地

新潟市・長岡市・上越市

(一財)消防試験研究センター 新潟県支部

〒950-0965 新潟市中央区新光町10-3 技術士センタービルⅡ7階703号

TEL 025-285-7774 FAX 025-211-7011 <http://www.shoubo-shiken.or.jp>

※受験願書、免状の書換え申請書は、当センター支部及び県内の消防署で配布しています。

※年間の日程等については、上記にお問い合わせください。

家庭用太陽光発電システム設置事業者の 販売促進の取り組み経費を助成します

～ 平成 28 年度 新潟県家庭用太陽光発電導入促進事業補助金の募集 ～

【事業の目的】

新潟県家庭用太陽光発電導入促進事業補助金は、

- I. 家庭用太陽光発電システム（以下、「システム」）の設置工事を元請けとして行う事業者で、平成 28 年度のシステム設置件数が平成 27 年度のシステム設置件数を上回る事業者
- II. 上記 I の補助事業に取り組む事業者で、新たな販売促進活動（新規又は平成 27 年度の取り組みの拡充）によりシステムの導入促進を図る事業者

に対して補助金を交付し、システム導入を促進し、県内の再生可能エネルギーの導入拡大を図ることを目的としています。

I. システムの設置に係る補助

【補助の内容】

補助対象事業者	補助の対象となる事業者は、新潟県内に事業所 ^{※1} が存在し、元請け ^{※2} として太陽光発電システムを設置する事業者となります。
事業計画書の作成	補助希望事業者は太陽光発電システムの販売を促進させる取り組み（販売価格低減、アフターサービス、販売促進等）、及び平成 27 年度元請け設置件数 ^{※3} 、H28 年度元請け設置予定件数 ^{※4} を記した事業計画書を作成して提出してください。
事業計画書提出期間	平成 28 年 5 月 11 日 ～ 平成 28 年 7 月 29 日（必着）
事業計画の公表	提出された事業計画の基本情報を公表し、広く県民に周知します。
補助の要件	次の要件を全て満たす場合、補助金を交付します。 ①平成 28 年度の元請け設置件数が 3 件以上 ②平成 28 年度の元請け設置件数が、平成 27 年度の元請け設置件数を超えた場合
補助金申請の受付期間	平成 28 年 5 月 11 日 ～ 平成 29 年 3 月 13 日（必着） 平成 27 年度の元請け設置実績件数を超えた時から、順次申請できます。 但し、1 事業所あたり補助上限件数は 10 件とします。
補助額	補助対象となるシステムを設置した地域により、 ・平野部 ^{※5} ：@2 万円 / 1kW（豪雪地帯特別措置法で豪雪地帯に指定されている市町村） ・山間部 ^{※6} ：@2.5 万円 / 1kW（豪雪地帯特別措置法で特別豪雪地帯に指定されている市町村） で、算出します。
補助件数	全体で約 310 件補助予定（予算が無くなり次第終了します。）

- ※1）新潟県内に支店等複数の事業所がある場合は事業所単位での申請でも構いませんが、その事業所の代表者の名前で施主と契約する場合があります。また、新潟県内に事業所があれば、本社は県外でも構いません。
- ※2）「元請け」とは、太陽光発電システムを設置する施主と直接契約をすることです。販売店等が契約したシステムを請負で設置する場合は対象となりません。
- ※3）平成 27 年度元請け設置件数は、平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 14 日の間に電力受給を開始した 10kW 未満の元請け設置件数とする。（平成 28 年 3 月 15 日～平成 28 年 3 月 31 日の間に電力受給を開始した 10kW 未満の元請け設置件数は除く。）
- ※4）平成 28 年度元請け設置予定件数は、平成 28 年 4 月 1 日以降に電力受給を開始する 10kW 未満の元請け設置予定件数とする。
- ※5）「平野部」とは、豪雪地帯特別措置法（昭和 37 年 4 月 5 日法律第 73 号）において豪雪地帯に指定を受けている県内市町村で、具体的には、新潟市、新発田市、見附市、燕市、阿賀野市、佐渡市、聖籠町、弥彦村、田上町、出雲崎町、刈羽村、粟島浦村となります。
- ※6）「山間部」とは、豪雪地帯特別措置法（昭和 37 年 4 月 5 日法律第 73 号）において特別豪雪地帯に指定を受けている県内市町村で、具体的には、長岡市、三条市、柏崎市、小千谷市、加茂市、十日町市、村上市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、阿賀町、湯沢町、津南町、関川村となります。

Ⅱ. 販売促進活動に係る補助

【補助の内容】

補助対象事業者	補助の対象となる事業者は、前記Ⅰ. システムの設置に係る補助事業に取り組む事業者で、新たな販売促進活動（新規又は平成 27 年度の取り組みの拡充）によりシステムの導入促進を図る事業者となります。
補助対象経費	システムの導入促進を図るための新たな販売促進活動に要する経費のうち、会場借上費、会場設営費、広告宣伝費、通信運搬費、展示品等輸送費 ※補助対象経費は、消費税抜きの金額であること。
交付申請書の作成	補助希望事業者は太陽光発電販売促進活動の概要、経費の内訳、補助金交付申請額等を記した補助金交付申請書（兼事業計画書）※ ¹ を作成して提出してください。
交付申請書提出期間	平成 28 年 5 月 11 日 ～ 平成 28 年 7 月 29 日（必着）
補助の要件	次の要件を全て満たす場合、補助金を交付します。 ①前記Ⅰ. システムの設置に係る補助事業に取り組む事業者であること。 ②補助対象となる新たな販売促進活動（新規又は平成 27 年度の取り組みの拡充）の実施日、請求及び支払日が補助金交付決定日以降であること。※ ²
補助金申請の受付期間	補助金交付決定日以降 ～ 平成 29 年 3 月 13 日（必着） 事業計画に基づく新たな販売促進活動が終了し、支払いが完了した時点から申請できます。
補助額	①今年度に新たに取り組む販売促進活動に要する経費の 2 分の 1 以内（1,000 円未満の端数は切り捨て）。 ②1 事業者あたりの補助金交付申請額の上限は 30 万円とし、補助金交付決定後の補助金申請額は補助金交付決定額を上限とします。
補助件数	約 15 事業者補助予定（予算が無くなり次第終了します。）

※1）Ⅰ. システムの設置に係る事業計画書も事前又は同時に提出していること。

※2）補助金交付決定日前に実施（支払い）した新たな販売促進活動は補助対象とはなりません。

※詳細は下記補助金専用ホームページをご参照ください。

【お問い合わせ先】

新潟県電気工事工業組合 太陽光補助金係

新潟市中央区上大川前通 6 番町 1203 電話 : 025-229-4101 FAX : 025-223-7321

E-Mail : ndkk@dkkni.or.jp

補助金専用ホームページ : <http://www.chuokai-niigata.or.jp/ndkk/solar-hojo/>
(新潟県電気工事工業組合 HP からリンクあり)

工場・商店等で低圧200V～600Vの電力をご使用のお客さまへ

古い低圧進相コンデンサによる火災事故の未然防止としてご使用の停止とお取替えをお願いしております。

長年ご使用の「低圧進相コンデンサ」は 発火の危険性があります！



昭和50年(1975年)以前に製造された低圧進相コンデンサは、経年劣化により寿命領域にあり、場合によっては火災に至る危険性があります。早急にご使用を停止し、お取替えをお願いします。

昭和50年(1975年)以前に製造された低圧進相コンデンサは、保安装置が内蔵されておりません。

※製造年はコンデンサ正面に貼られた銘板を確認下さい。

※お取外し、お取替えはお客様のご負担でお願いします。

※保安装置、保安機構内蔵のコンデンサであっても、長期ご使用に伴う経年劣化により危険な場合もあります。定期的な点検と計画的な更新をお願いします。

(日本電機工業会では低圧進相コンデンサの更新推奨時期は10年としています。)

低圧進相コンデンサとは

低圧進相コンデンサは、工場のモータで稼働する設備や店舗の業務用冷蔵庫等の電気機器の力率を改善する目的で配電板や配電盤に設置されています。

※商品の外観はメーカーにより異なります。

設置例



製造年

低圧進相コンデンサでなぜ火災に

ご使用方法や周囲環境によっては、経年劣化により、万一、絶縁破壊した場合には金属容器または樹脂容器が破裂し火災に至る危険性があります。

事故例



焼損した
コンデンサ

正常な
コンデンサ



03-3556-5885

お問い合わせ先 低圧進相コンデンサ市場対応WG加盟会社【販売会社】

- (株)指月電機製作所 0798-74-3704
- 中国電機製造(株) 050-5524-1356
- 東芝ライテック(株) 046-862-2038
【東京芝浦電気(株)・東芝電材(株)】
- ニチコン(株)【日本コンデンサ工業(株)】 077-563-1181
- 日新電機(株) 075-864-8397
- 日本ケミコン(株) 03-5436-7727
【マルコン電子(株)・東京電器(株)・二井蓄電器(株)】
- パナソニック(株)【松下電器産業(株)】 0763-33-6333
- 三菱電機(株) 03-5776-0266

受付時間 9:00～17:00(土、日、祝日は除く)

退職金で、会社にも従業員にも活力！



中

小企業

会社に有利

掛金は全額非課税なので
節税につながります。
手数料も必要ありません。

安心・確実

国が掛金の一部を
助成します。

退

職金

パートさんも
加入OK

パートさんのための
特別掛金月額を
ご用意しています。

カンタン管理

外部積立で管理もカンタン。
納付状況や試算額も
定期的にお知らせします。

共

済制度



中小企業のための退職金制度「中退共」は
1959年の設立以来、100万社以上が活用してきた国の制度です。

*他の退職金・企業年金制度等とのポータビリティも可能です。

中退共制度のしくみ

① 加入申込

お近くの金融機関等の窓口でお申込みください。
事業主が中退共と「退職金共済契約」を結び共済手帳が送付されます。

② 掛金納付

毎月の掛金は全額事業主負担で、口座振替で金融機関に納付します。

③ 支払い

退職した従業員の請求に基づき、中退共から退職金が直接支払われます。

詳しくはホームページを
ご覧ください

中退共

検索

<http://chutai-kyo.taisyokukin.go.jp/>



独立行政法人勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1
TEL (03) 6907-1234 FAX (03) 5955-8211



企業繁栄と

= 豊かなセカンドライフへの橋渡し =

東北七県電気工事業に従事する方々の
よりよい福祉の向上を目指す。

東北七県電気工事業厚生年金基金

理事長 小林 功

〒984-0074 宮城県仙台市若林区東七番丁 157 番地

TEL 022-221-4415 FAX 022-224-6843

編集発行：新潟県電気工事工業組合

〒 951-8068

新潟市中央区上大川前通6番町1203番地

<管理部門> TEL 025 (229) 4101

<資材部門> TEL 025 (229) 1586

印 刷：株式会社 大創

あぶないぞ！

言える勇氣と聞く態度

声掛けあつて事故防止

〈安全標語〉 新潟支部 (株)荻荘電機 竹之内 裕二

新潟県電気工事工業組合